

「(仮称)青森市地域福祉計画」策定に係る

アンケート調査

(町(内)会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員用)

集 計 結 果

■ 調査目的

新しい「(仮称)青森市地域福祉計画」の策定に当たって、市民や各団体の考え・意識などの現状と課題を把握し、地域福祉計画の基礎資料とするため。

■ 調査対象者数

1,036件

- ・町(内)会:408
- ・地区社会福祉協議会:38
- ・民生委員・児童委員:590

■ 調査期間

町(内)会、地区社会福祉協議会:30日間 (令和5年12月15日～令和6年1月19日)

※ 民生委員・児童委員は、令和6年1月5日～19日の15日間

■ 調査方法

調査対象者へ郵送により配布し、郵送により回収する

※ 民生委員・児童委員は「青森市民生委員児童委員協議会」理事会にて説明後送付

■ 回答数、回答率

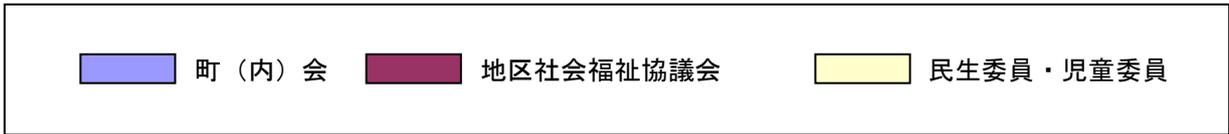
799件、77.1%

■ 対象者別回答数・回答率

対象者	町(内)会	地区 社会福祉協議会	民生委員・ 児童委員	合計
対象者数	408	38	590	1,036
回答数 (回答率)	276 (67.6%)	35 (92.1%)	488 (82.7%)	799 (77.1%)

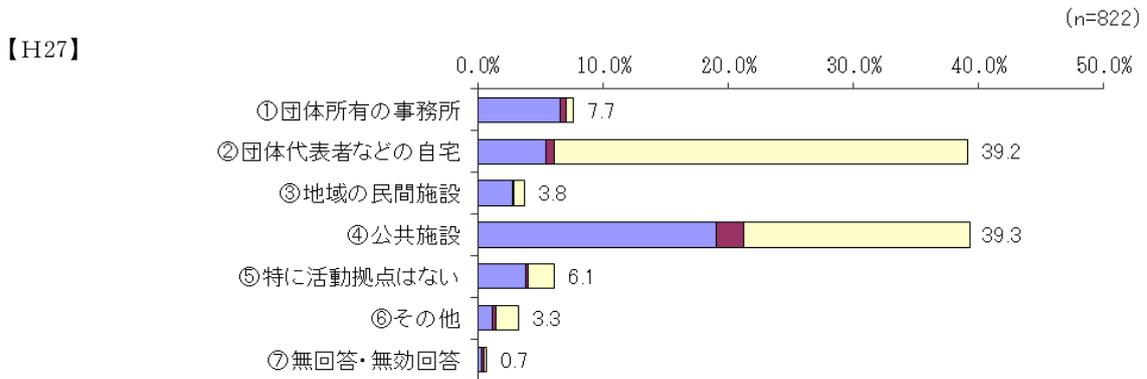
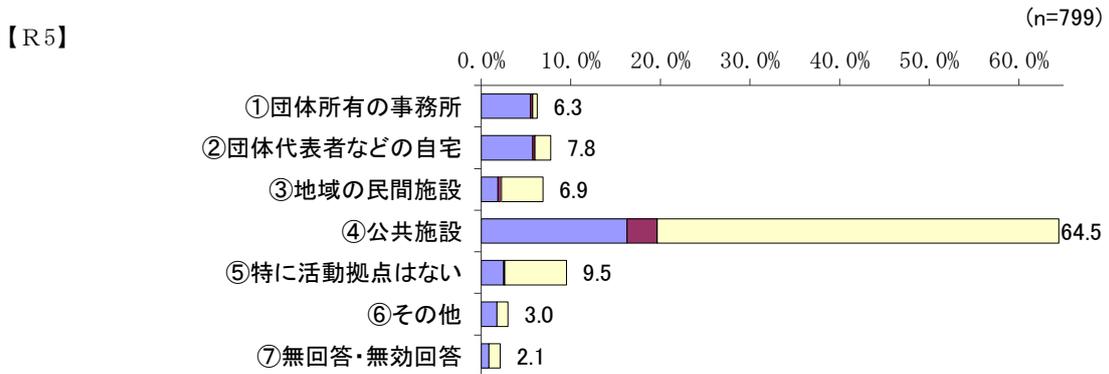
■ 注意事項

- (1) 図表中の「n」は、回答数を示しています。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答数を基礎として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答形式の設問については、回答比率の合計を100%とするために、その設問の総回答数を基礎として回答比率を算出しています。



《 I . 地域での活動状況について 》

【問2】
 地域活動を行う上で、貴団体の主な活動拠点は、次のどれにあたりますか。該当するものに○をつけてください。(○は1つ)

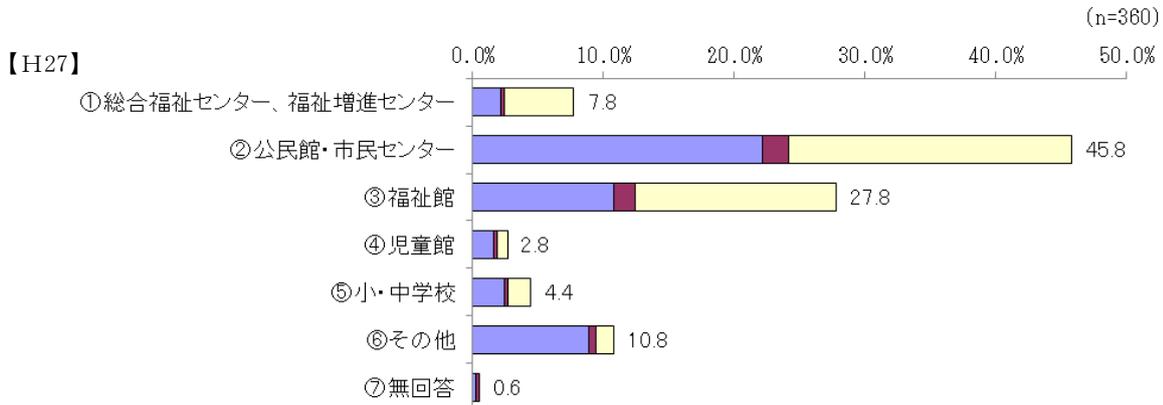
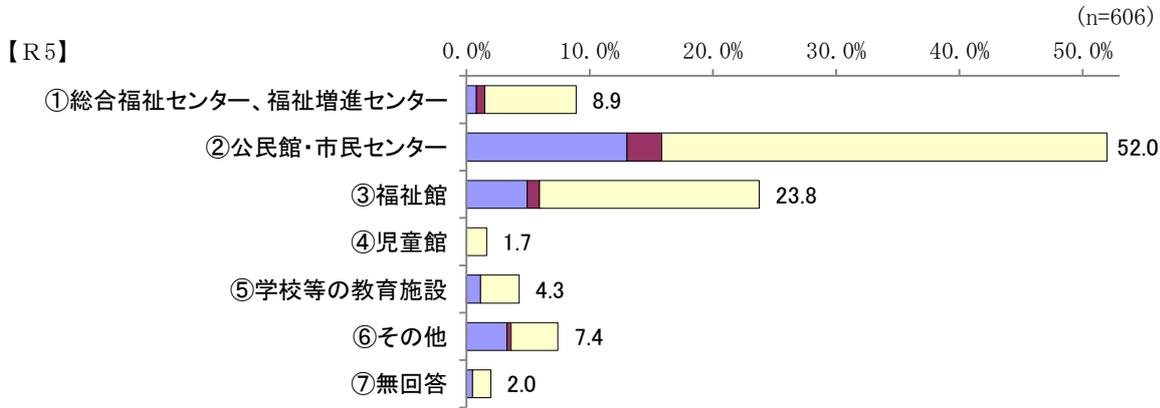


活動拠点については、「④公共施設」と回答した割合が64.5%と最も高くなっています。
 前回調査時と比較すると、公共施設の割合が大幅に増加する一方、「②団体代表者などの自宅」が大幅に減少しています。

町（内）会
 地区社会福祉協議会
 民生委員・児童委員

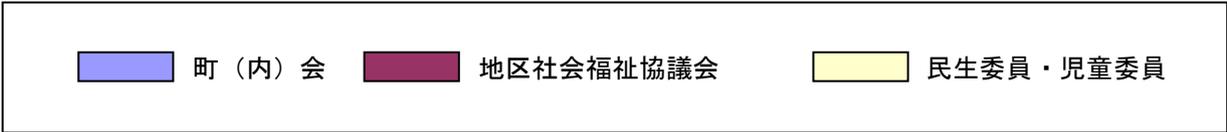
【問3】 <【問2】で4と回答した方のみ>

主な活動拠点としている公共施設は、次のどれにあたりますか。該当するものすべてに○をつけてください。
(複数回答)

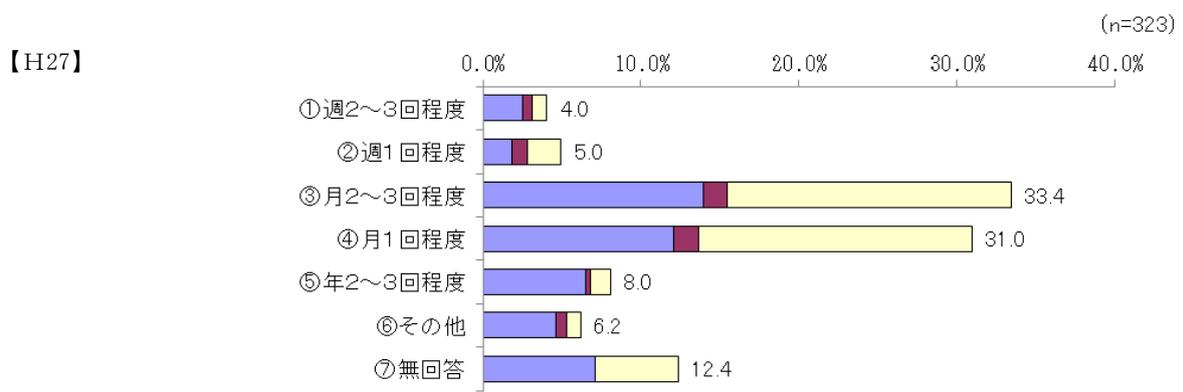
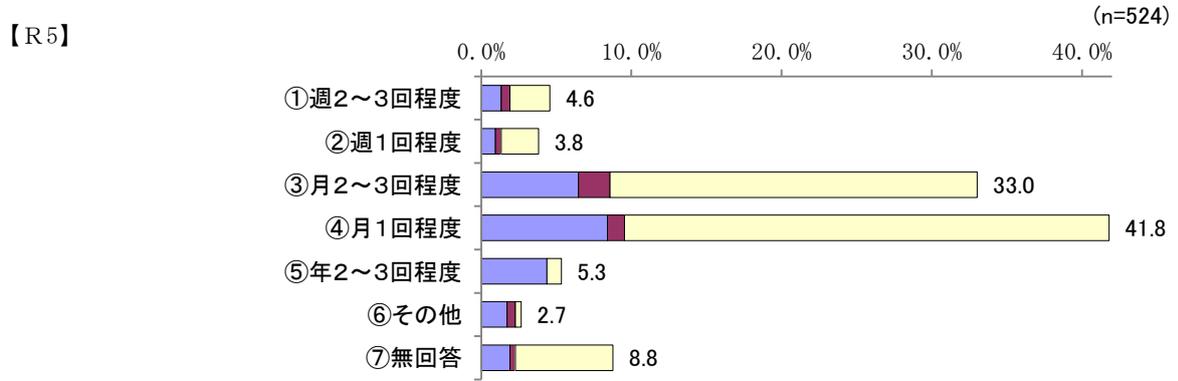


活動拠点としている公共施設については、前回調査時と同様に「②公民館・市民センター」と回答した割合が52.0%と最も高く、次いで「③福祉館」が23.8%、「①総合福祉センター、福祉増進センター」が8.9%となっています。

前回調査時と比較すると、「②公民館・市民センター」が6.2ポイント増加している一方、「③福祉館」が4.0ポイント減少しています。



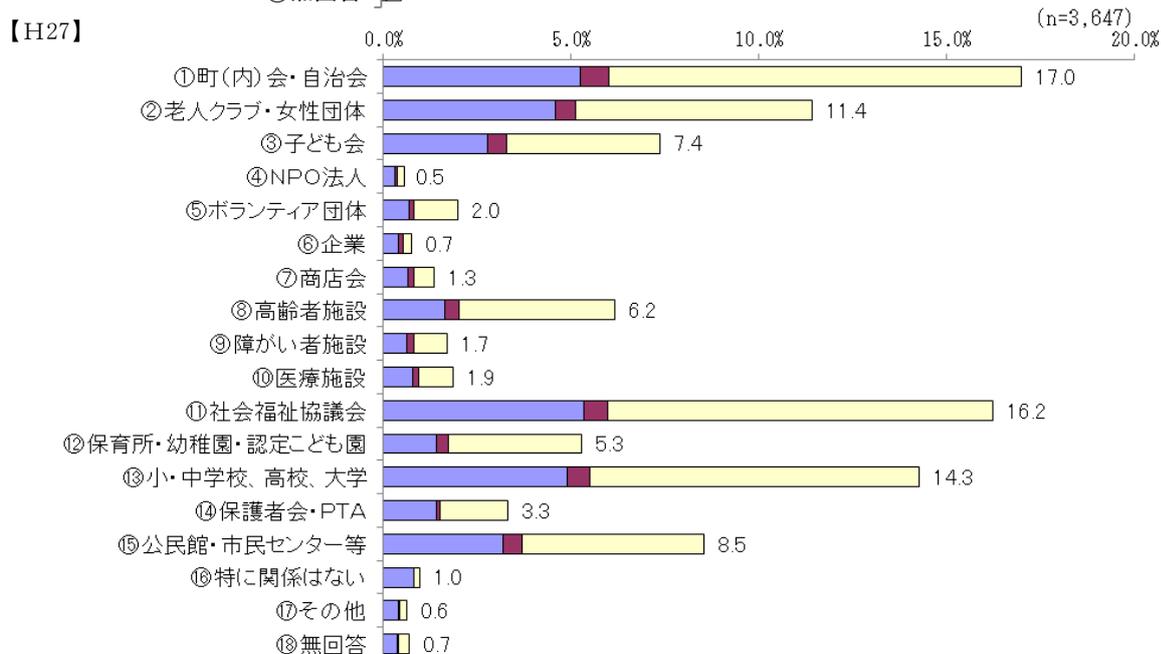
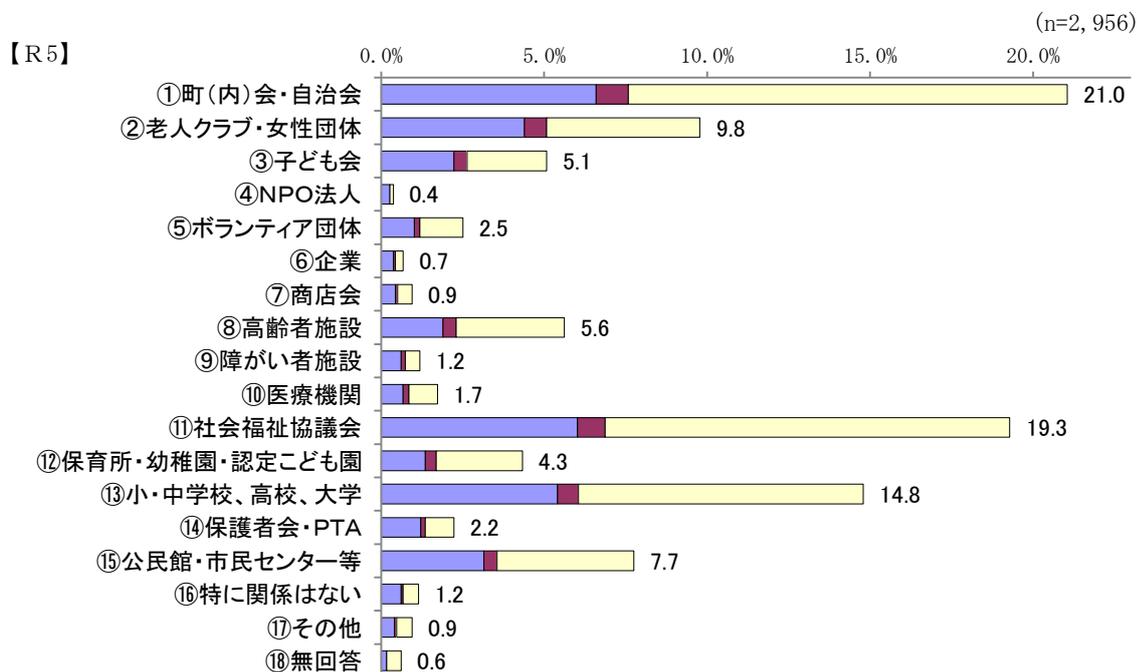
【問4】 <【問2】で4と回答した方のみ>
 主な活動拠点としている公共施設の利用頻度は、どれくらいですか。該当するものに○をつけてください。
 (○は1つ)



活動拠点としている公共施設の利用頻度については、前回調査時と比較すると、「④月1回程度」及び「③月2～3回程度」の合計が64.4%から74.8%に10.4ポイント増加しています。

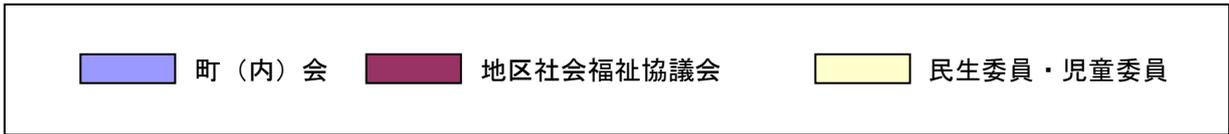
町（内）会
 地区社会福祉協議会
 民生委員・児童委員

【問5】
 貴団体は、他の団体や公共機関などと交流や協力関係がありますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）



他の団体や公共機関などとの交流や協力関係については、前回調査時と同様に「①町（内）会・自治会」と回答した割合が21.0%と最も高く、次いで「⑪社会福祉協議会」が19.3%となっています。

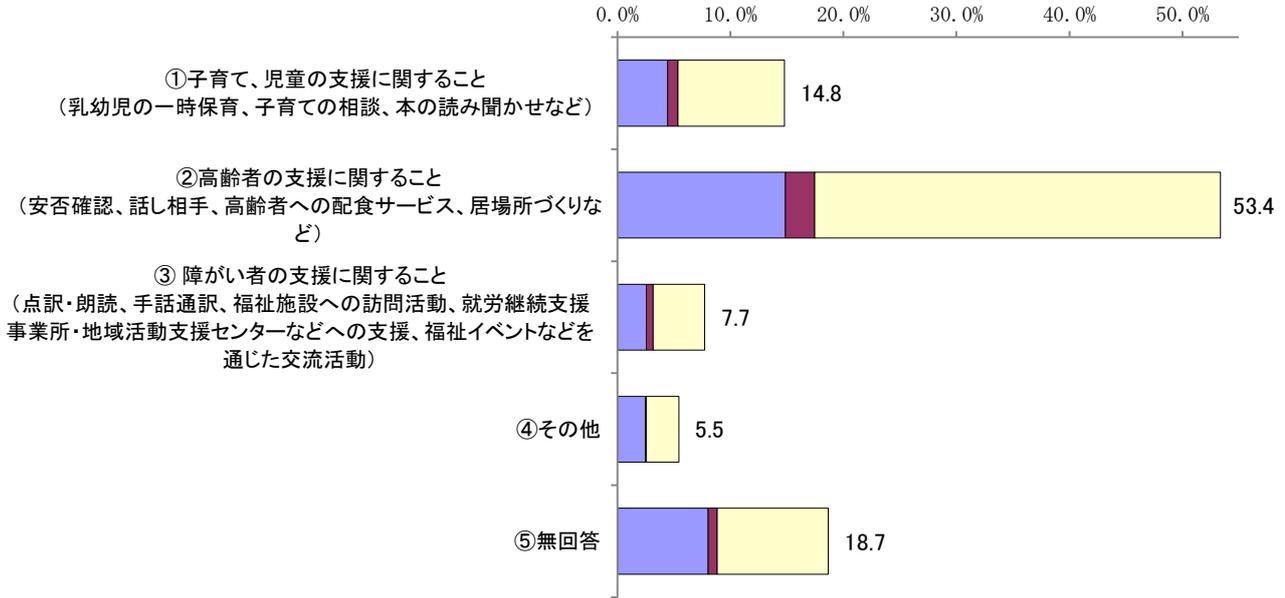
前回調査時と比較すると「①町（内）会・自治会」と回答した割合が4.0ポイント、「⑪社会福祉協議会」が3.1ポイント増加しています。



【問6】<【問5】で16以外と回答した方のみ>
 貴団体が、他の団体や公共機関などと交流や協力して行っている活動は、どのような活動ですか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)

R5 (新設)

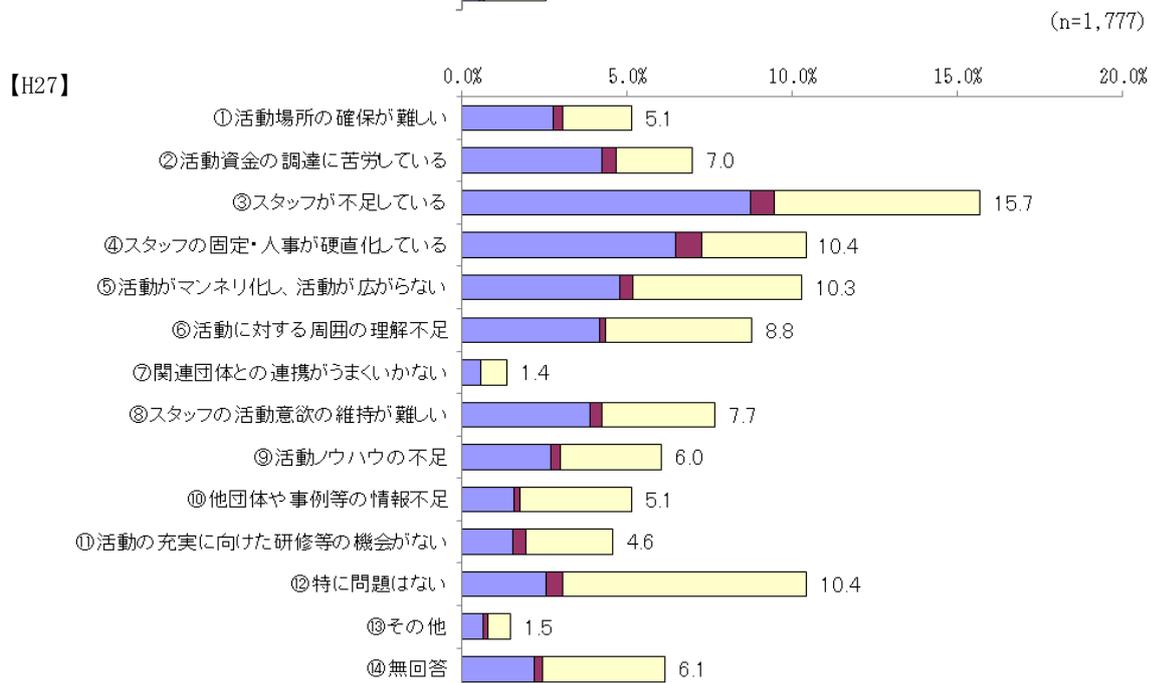
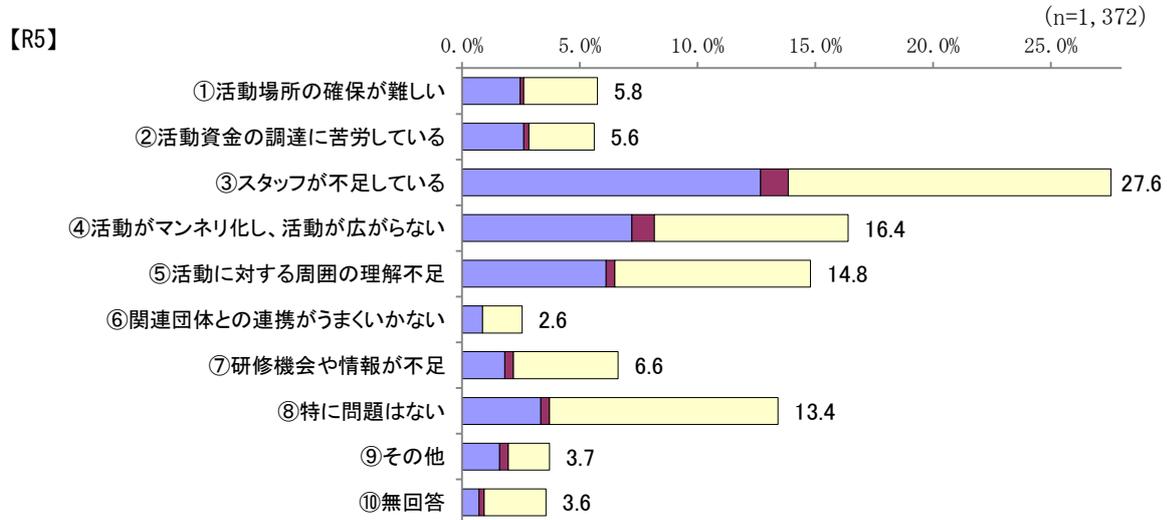
(n=1,008)



他の団体や公共機関などと交流や協力して行っている活動については、「②高齢者の支援に関すること」と回答した割合が53.4%と最も高く、次いで「①子育て、児童の支援に関すること」が14.8%となっています。

町（内）会 地区社会福祉協議会 民生委員・児童委員

【問7】
貴団体の活動を行う（継続する）上での課題や問題点は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

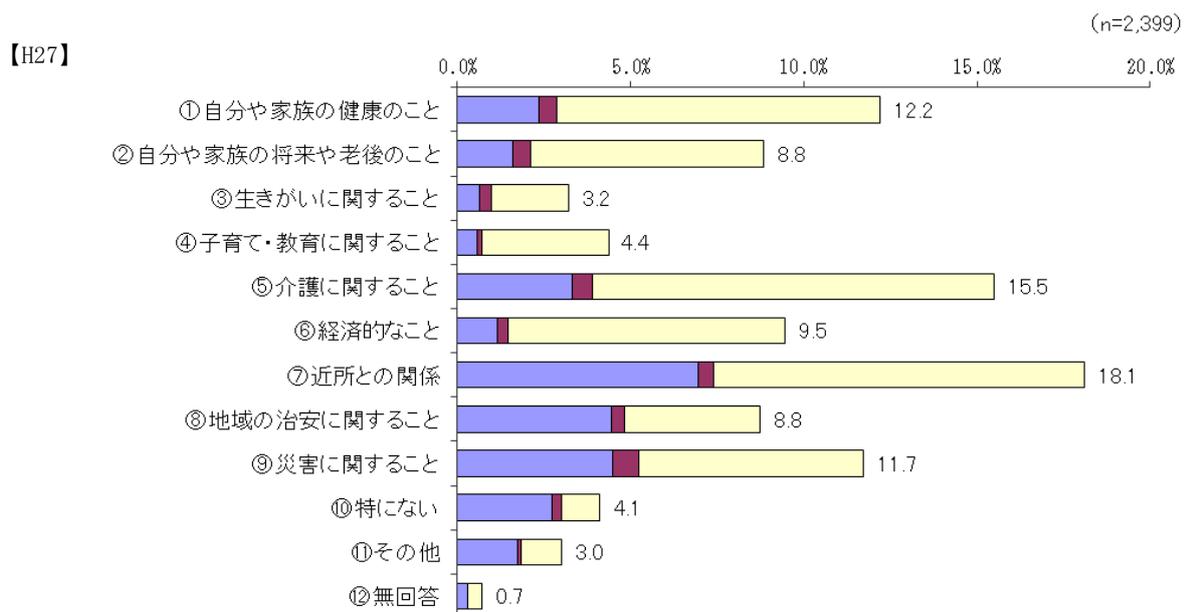
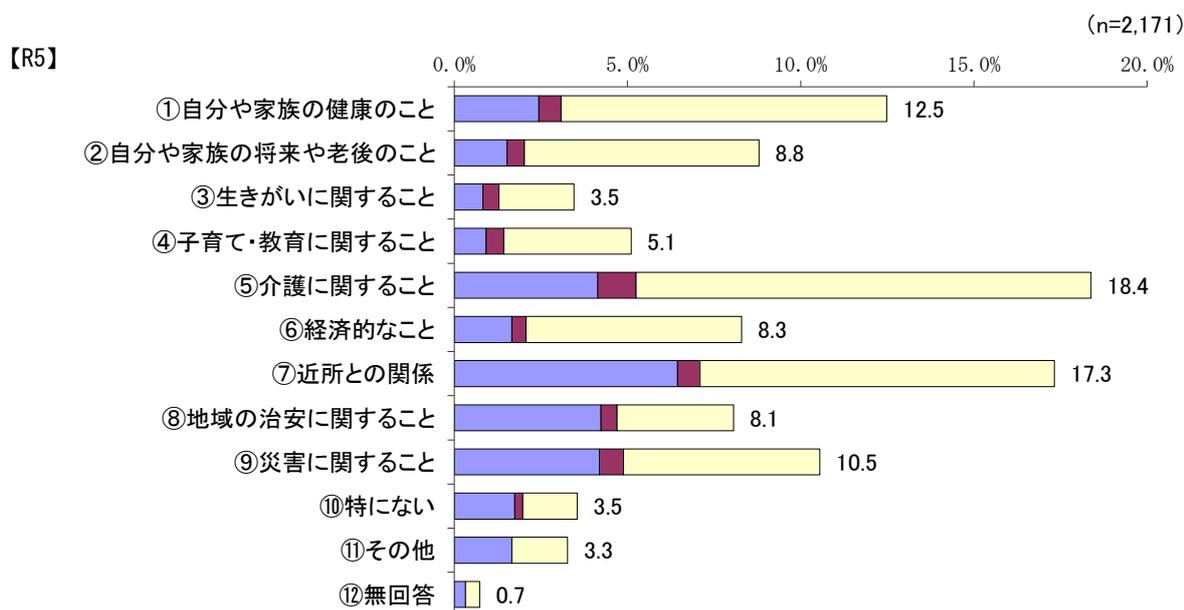


活動上の課題や問題点については、「③スタッフが不足している」と回答した割合が、27.6%と最も高くなっており、次いで「④活動がマンネリ化し、活動が広がらない」が16.4%、「⑤活動に対する周囲の理解不足」が14.8%となっています。

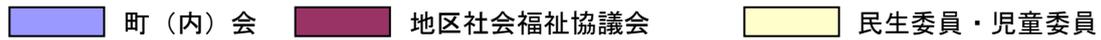
前回調査時と比較すると、「③スタッフが不足している」は11.9ポイント、「④活動がマンネリ化し、活動が広がらない」は6.1ポイント、「⑤活動に対する周囲の理解不足」が6.0ポイント、それぞれ増加しています。

町（内）会 地区社会福祉協議会 民生委員・児童委員

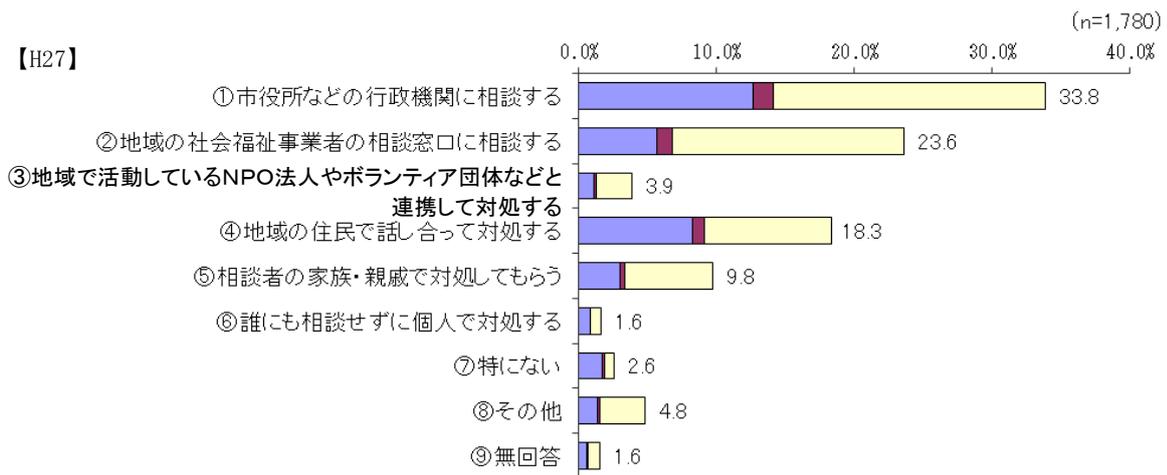
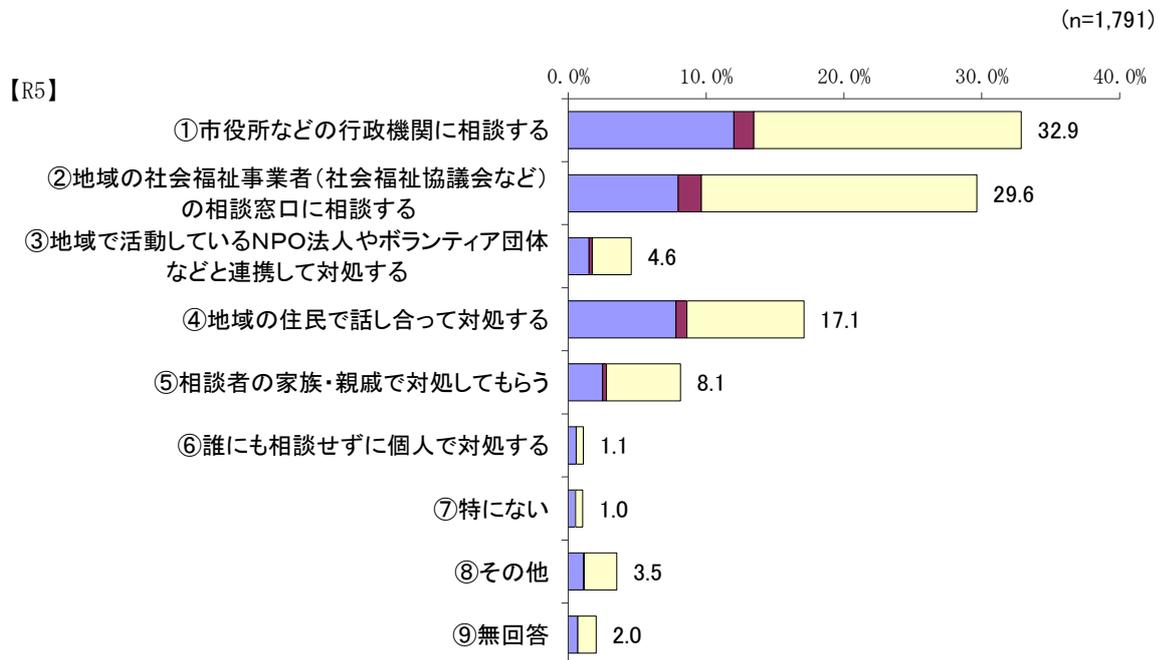
【問8】
貴団体は、地域の住民の方から、どのような内容の相談を受けましたことがありますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）



地域住民からの相談内容については、「⑤介護に關すること」と回答した割合が18.4%と最も高く、次いで「⑦近所との關係」が17.3%となっています。
 前回調査時と比較すると、「⑤介護に關すること」が2.9ポイント増加する一方、「⑨災害に關すること」が1.2ポイント減少しています。

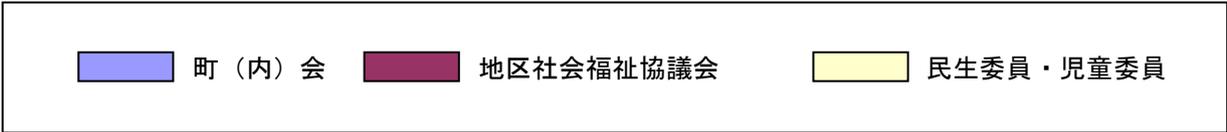


【問9】
貴団体は、地域の住民の方から相談を受けた場合、どのように対処していますか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)

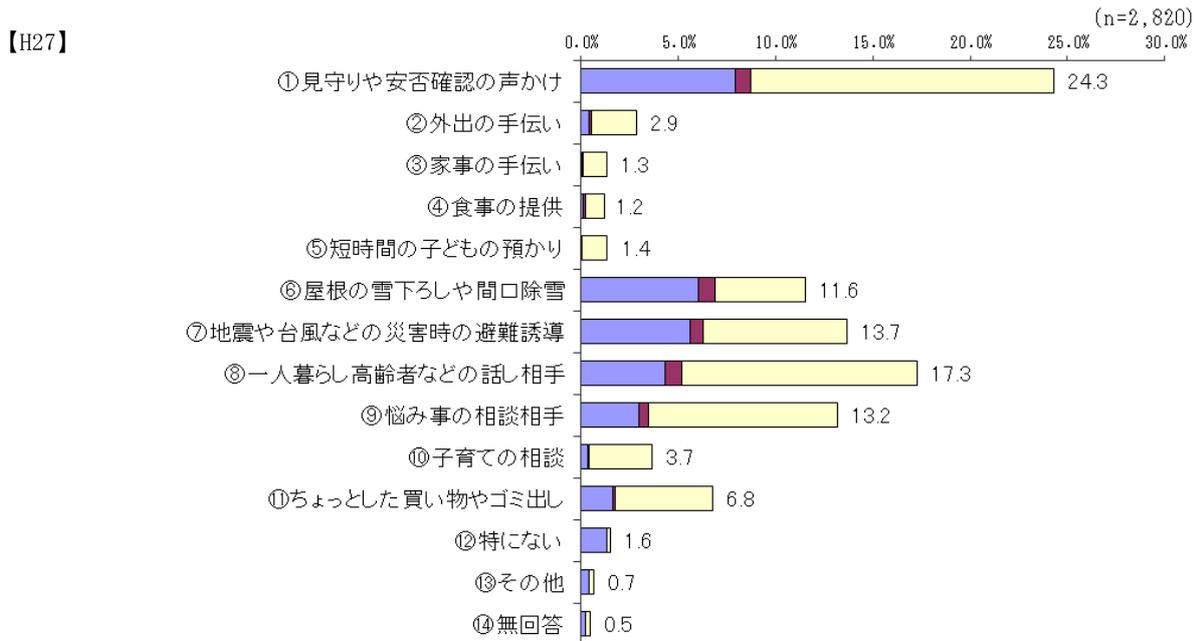
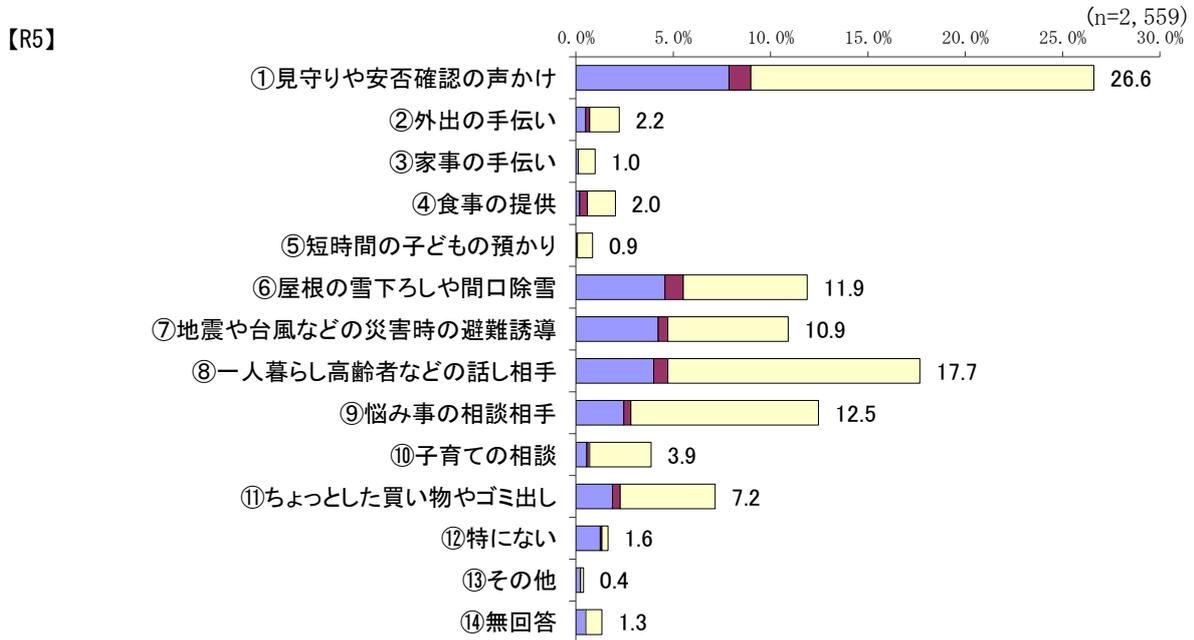


地域住民からの相談の対処については、「①市役所などの行政機関に相談する」と回答した割合が32.9%と最も高く、次いで「②地域の社会福祉事業者の相談窓口に相談する」が29.6%となっています。

前回調査時と比較すると、「②地域の社会福祉事業者の相談窓口に相談する」と回答した割合が6.0ポイント増加しています。



【問10】
 近所に、日々の生活において、支援を必要としている人がいた場合、貴団体はどのような手助けができますか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)



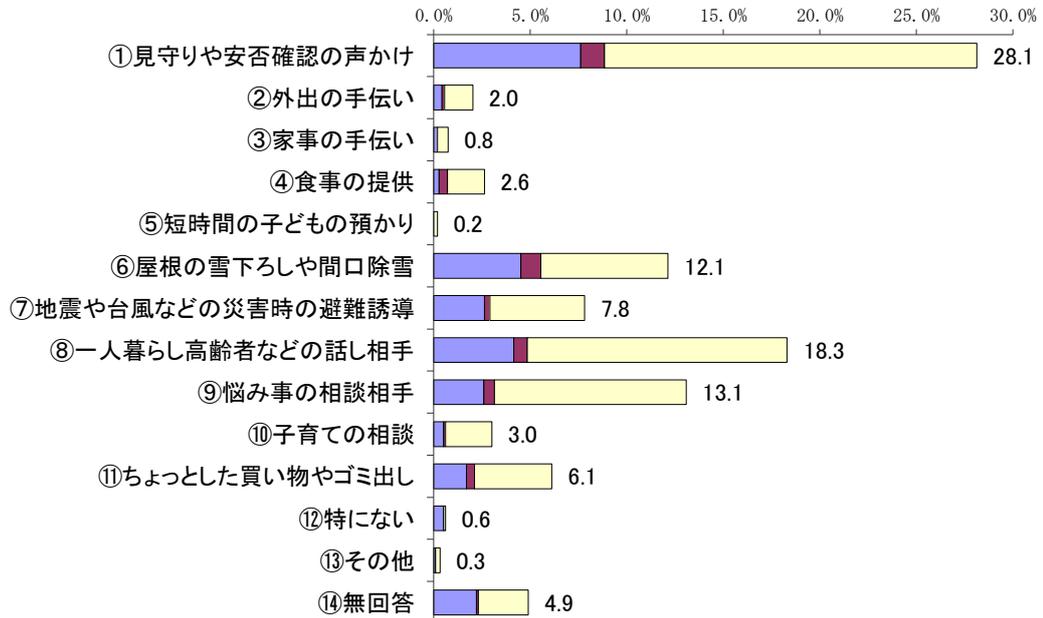
どのような手助けができるかについては、「①見守りや安否確認の声かけ」と回答した割合が26.6%と最も高く、次いで「⑧一人暮らし高齢者などの話し相手」が17.7%となっています。前回調査時と比較すると、「①見守りや安否確認の声かけ」と回答した割合が2.3ポイント増加している一方、「⑦地震や台風などの災害時の避難誘導」が2.8ポイント減少しています。

町（内）会 地区社会福祉協議会 民生委員・児童委員

【問11】（問10で特にないと答えた方は回答不要です）
問10で近所の方に手助けが可能と答えた項目のうち、貴団体が実際に行っている手助けはどのようなものがありますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

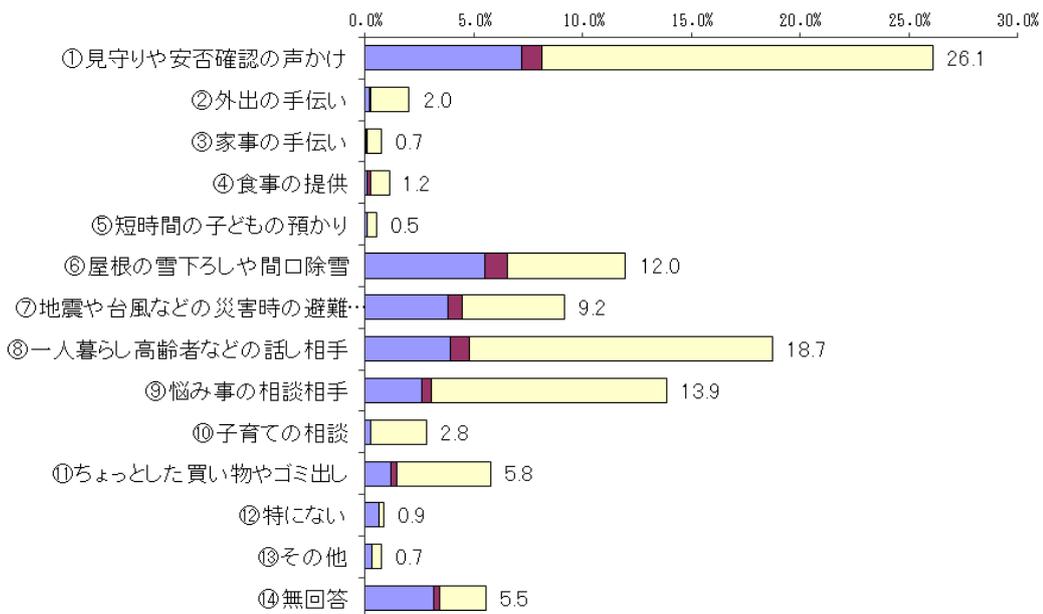
【R5】

(n=2,126)



【H27】

(n=2,170)



手助けが可能な支援のうち実際に行っている手助けについては、「①見守りや安否確認の声かけ」と回答した人の割合が28.1%と最も高く、次いで「⑧一人暮らし高齢者等の話し相手」が18.3%となっています。

前回調査時と比較すると、「①見守りや安否確認の声かけ」が2.0ポイント増加している一方、「⑦地震や台風などの災害時の避難誘導」が1.4ポイント減少しています。

町（内）会

地区社会福祉協議会

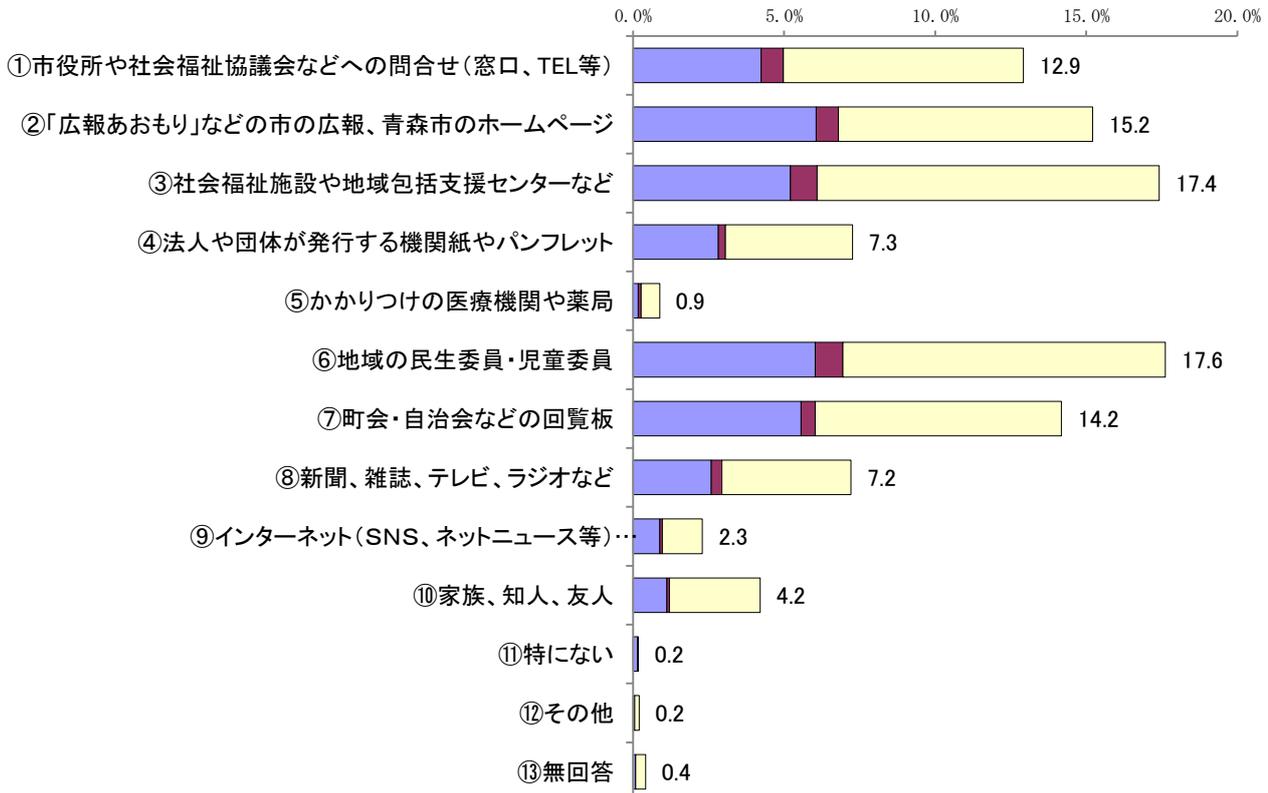
民生委員・児童委員

【問12】

貴団体は、福祉サービスに関する情報をどのようにして入手していますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

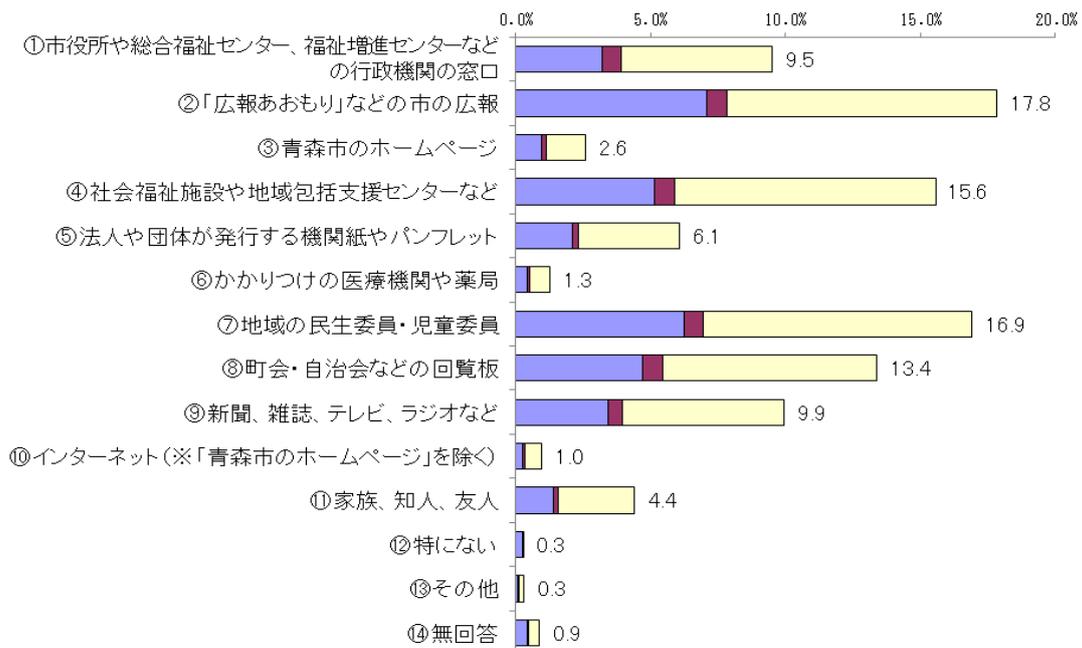
【R5】

(n=3,999)



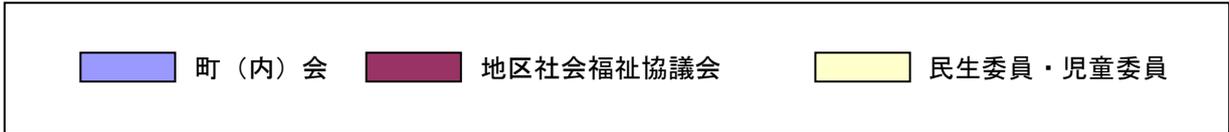
【H27】

(n=3,561)



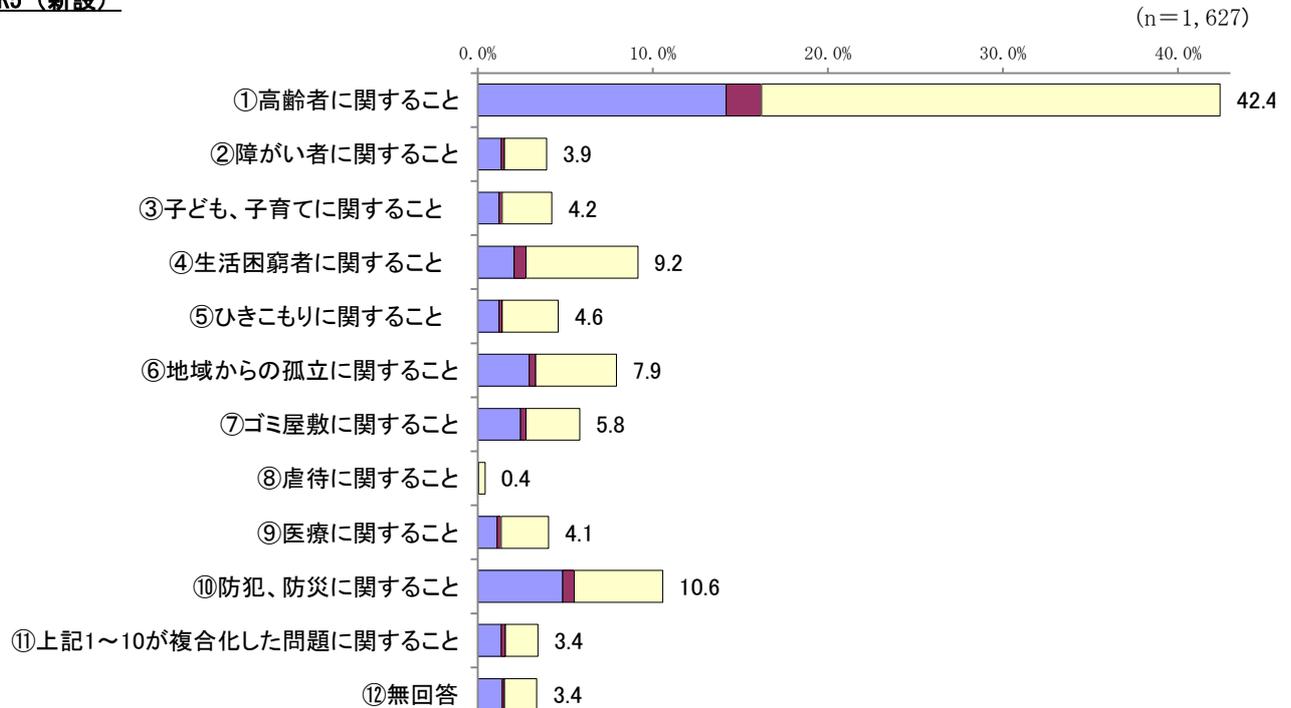
福祉サービス情報をどのように入手しているかについては、「⑥地域の民生委員・児童委員」と回答した割合が17.6%と最も高く、次いで「③社会福祉施設や地域包括支援センターなど」が17.4%となっています。

前回調査時と比較すると、「①市役所や社会福祉協議会などへの問合せ(窓口、TEL等)」が3.4ポイント、「③社会福祉施設や地域包括支援センターなど」が1.8ポイント、「⑨インターネット(SNS、ネットニュース等)」が1.3ポイント、それぞれ増加している一方、「②「広報あおもり」などの市の広報、青森市のホームページ」が5.2ポイント、「⑧新聞、雑誌、テレビ、ラジオなど」が2.7ポイント、それぞれ減少しています。



【問13】
貴団体が活動する中で、増えてきたと特に感じる地域の問題、課題等がありますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

R5（新設）



増えてきたと特に感じる地域の問題、課題等については、「①高齢者に関すること」の割合が42.4%と最も高く、次いで、「⑩防犯、防災に関すること」、「④生活困窮者に関すること」が高くなっています。

【問14】
地域独自で取り組んでいる地域福祉に関する活動がありましたら、参考にさせていただきたいと考えておりますので、ご記入ください。（自由記載）
 ≪例≫「見守り・声かけ活動」「家事支援活動」「地域ふれあい交流活動」「健康づくり活動」など

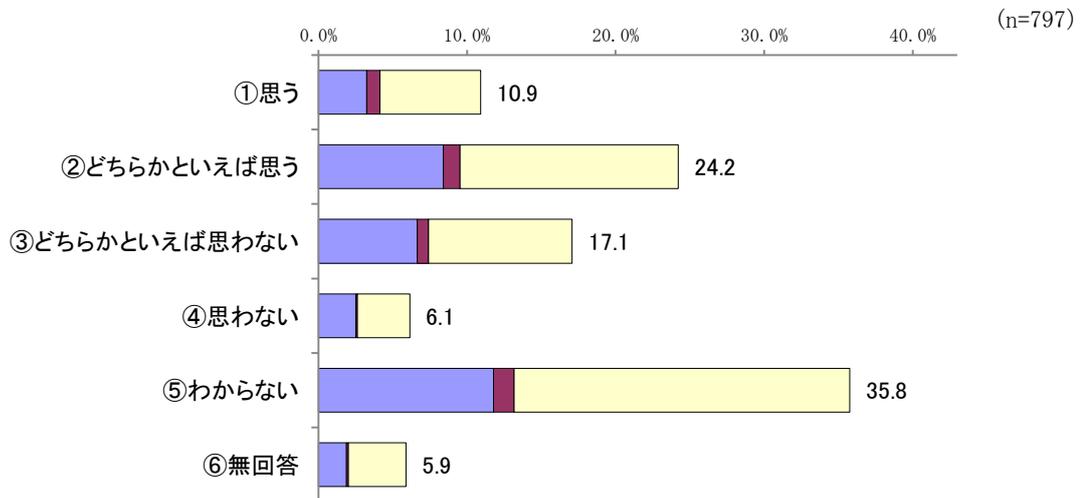
別紙参照

町（内）会 地区社会福祉協議会 民生委員・児童委員

Ⅲ. 再犯防止に関するあなたの考えについて

【問15】貴団体として、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか？該当するものに○をつけてください。（○は1つ）

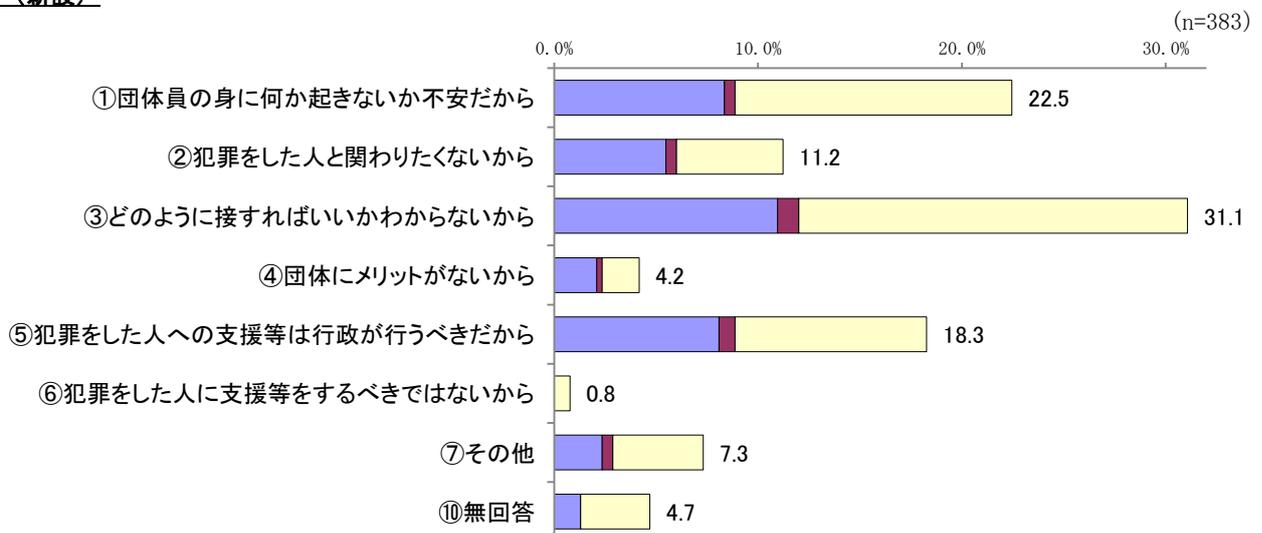
R5（新設）



犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思う割合については、「⑤わからない」の割合が35.8%と最も高く、次いで、「②どちらかといえば思う」が24.2%となっています。

【問16】<【問15】で「3」、「4」と回答した方のみ> 思わないと答えた理由は何ですか？該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）

R5（新設）



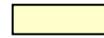
思わないと答えた理由は、「③どのように接すればいいかわからないから」の割合が31.1%と最も高く、次いで、「①団体員の身に何か起きないか不安だから」が22.5%となっています。



町（内）会



地区社会福祉協議会

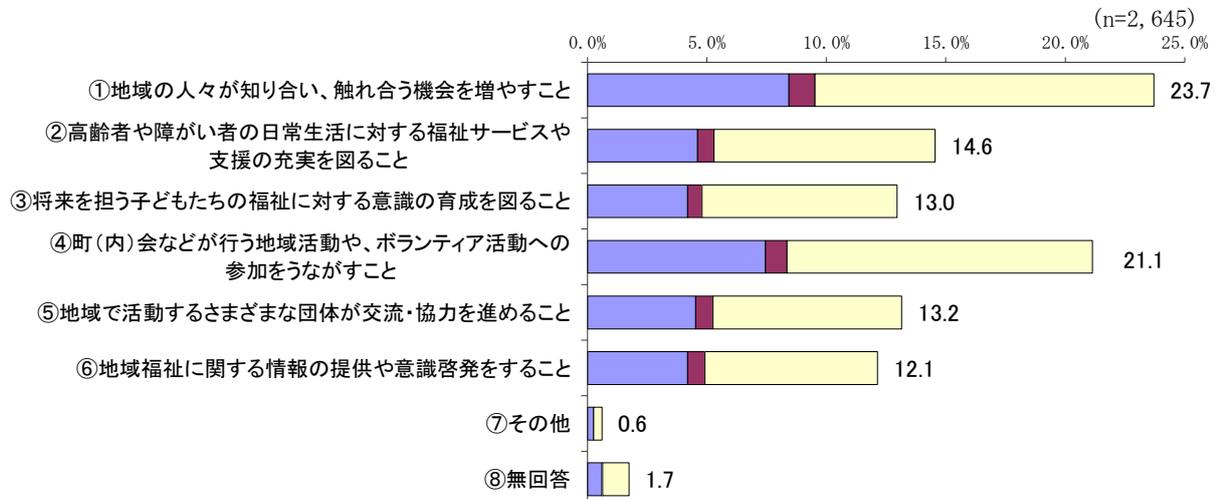


民生委員・児童委員

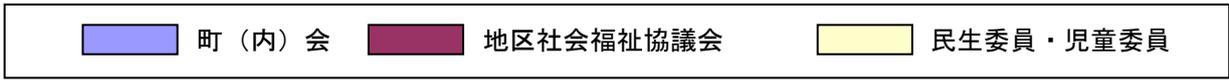
Ⅳ. 地域福祉に関するあなたの考えについて

【問17】

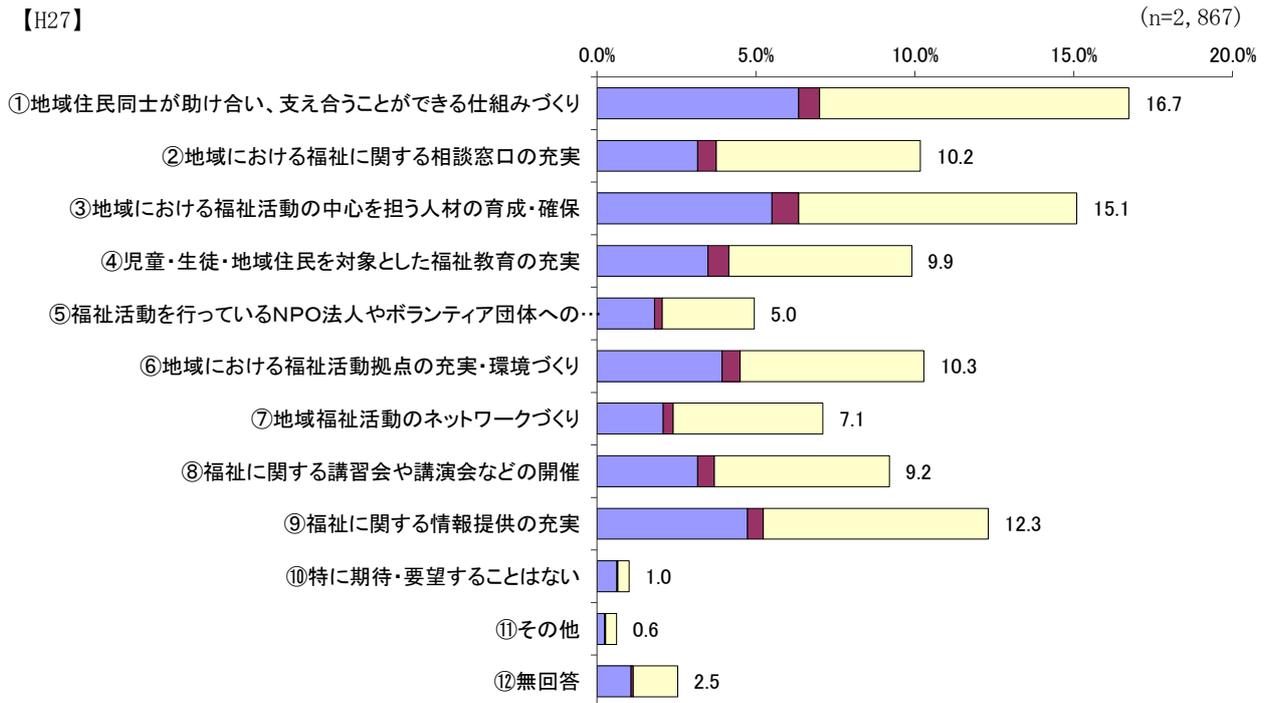
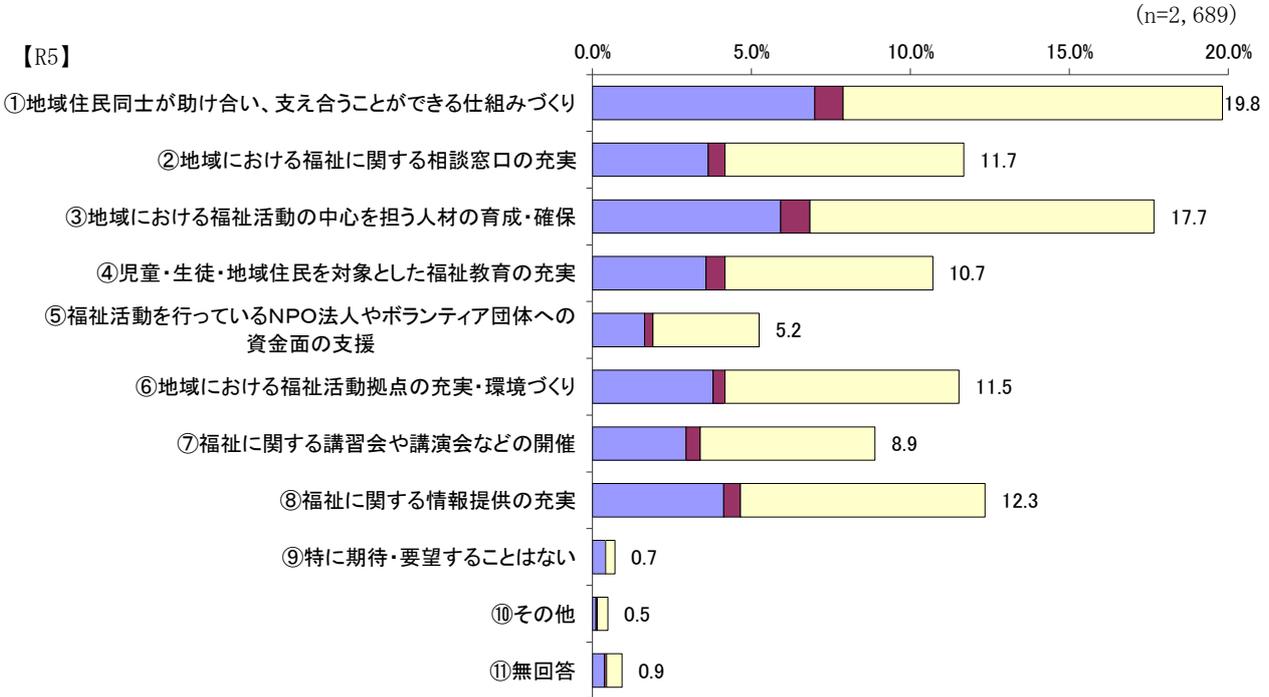
誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、貴団体は、どのような取組みが必要であると考えますか。該当するものすべてに○をつけてください。（複数回答）



誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために必要な取組みについては、「①地域の人々が知り合い、触れ合う機会を増やすこと」と回答した割合が23.7%と最も高く、次いで「④町会などが行う地域活動や、ボランティア活動への参加をうながすこと」が21.1%となっています。



【問18】
貴団体は、地域福祉を進める上で、行政にどのようなことを期待・要望しますか。該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答)



地域福祉を進める上で行政に期待・要望することについては、「①地域住民同士が助け合い、支え合えることができる仕組みづくり」と回答した割合が19.8%と最も高く、次いで「③地域における福祉活動の中心を担う人材の育成・確保」が17.7%となっています。

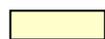
前回調査時と比較すると、「①地域住民同士が助け合い、支え合えることができる仕組みづくり」と回答した割合が3.1ポイント、「③地域における福祉活動の中心を担う人材の育成・確保」が2.6ポイント、それぞれ増加しています。



町（内）会



地区社会福祉協議会



民生委員・児童委員

【問19】

誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、貴団体の地域のこういうところを良くすれば、地域がもっと住みやすくなるといった点など、地域福祉に関するご意見、ご要望がありましたら、ご記入ください。（自由記載）

別紙参照

【問14】

地域独自で取り組んでいる地域福祉に関する活動がありましたら、参考にさせていただきたいと考えておりますので、ご記入ください。（自由記載）
 <例>「見守り・声かけ活動」「家事支援活動」「地域ふれあい交流活動」「健康づくり活動」など

【子ども・高齢者の見守り・声かけ活動】

	回答者	回答内容
1	町会	見守り、声掛け、活動、高齢者の一人暮らしの食事会、ゴミの出し方指導、各行事への参加呼びかけ
2	町会	見守り、声掛け、活動、高齢者宅へ月1回訪問、地域ふれあい交流活動
3	町会	見守り、地域のイベント等への勧誘を通して、一人暮らしの高齢者の方の安否確認をしている。
4	町会	民生委員を中心に高齢者世帯への定期訪問
5	民生委員	留守の場合はメモ書きによる訪問
6	民生委員	痴呆者の見守りと高齢者の歩行散歩の声掛け、一人暮らしの見守りと声掛け、町内行事への積極的参加。
7	民生委員	こころの縁側、一人暮らしの食事会、チームオレンジ（認知症カフェ）
8	民生委員	認知症予防、地域包括と連携し月2回実施
9	民生委員	新学期が始まった際の交通整理、見守り
10	民生委員	数日電気がつかないや近所からの通報があれば訪問する。
11	民生委員	町会で地域の包括支援センターの方と民生委員を交えて、年2回定期的に情報交換をして、地域の様子を把握しているので、何か困りごとがあった際の連帯がスムーズにしている。
12	民生委員	1人暮らし、高齢者のみの世帯を特に注意して見守っている。
13	民生委員	新入児童及び在校児童への朝の挨拶運動
14	民生委員	小学校の昼休み中の見守り
15	民生委員	スクールバス見守り時に子どもへ声掛けを行い悩み事を聞いたりする。いじめられているなど思ったときは親と学校に相談しています。
16	民生委員	見守り活動、声掛け活動、小学校での朝の挨拶運動、小学1年生の下校指導、1人暮らしのお食事会、こころの縁側、1人暮らしの訪問
17	民生委員	家事支援活動の一つ、転びやすくなった高齢者の依頼でゴミ出し。月に2回こころの縁側
18	民生委員	小学生の入学時、登校時間にバス停で合流し、あいさつ、声掛け活動を行いながら5日間子供達の見守りを続けています。

【地域ふれ合い交流活動】

	回答者	回答内容
1	町会	地域ふれあい交流活動、小学校入学児童へ図書カード3000円配付、全会員へゴミ袋配付、見守り、声掛け、通学路の除雪、住人から土地を有償で借入して、子供たちの遊びの場を提供している。
2	町会	レクリエーション活動、地域防災活動
3	民生委員	町会で管理しているお宮での宵宮、夏休みのラジオ体操
4	民生委員	地域交流活動（児童、保護者と町内の人のゴミ拾いを年4回）
5	民生委員	高齢者と子供の軽いスポーツ交流
6	民生委員	子供の居場所づくり、子ども食堂
7	民生委員	ロコトレ週に1回、多世代交流（一人暮らし、高齢夫婦、子育て世代）どなたでもお話して楽しむお茶会を月1回している。
8	民生委員	ほっとカフェ事業（小学校を借り民生委員と保護者をはじめとした地域の人の交流の場を設置）

【1人暮らし高齢者の食事会】

	回答者	回答内容
1	町会	高齢者へ弁当配付
2	民生委員	高齢者の一人暮らしへお弁当の配付をしながら声掛け
3	民生委員	1人暮らし食事会 お弁当提供活動
4	民生委員	1人暮らしのコミュニケーション作りの為、運動と給食の提供サービス
5	民生委員	年2回チョコなどお菓子の配食
6	民生委員	1人暮らしの配食月1回、1人暮らしの高齢者への見守り声掛け活動、地域ふれあい交流活動、地域まちづくり活動、敬老会

【健康教室・健康づくり活動】

	回答者	回答内容
1	町会	健康づくり活動で健康教室を毎月開催している。
2	町会	町会の活動状況を紹介したコミュニティ紙「通信」を年3～4回発行している。 健康ウォーキング
3	町会	毎週木曜日に健康チェックと、健康体操を実施
4	民生委員	いきいき体操教室
5	民生委員	モルックゲーム、ロコトレ教室
6	民生委員	月2回ロコトレを福祉館で利用している。
7	民生委員	健康づくり活動、地域ふれあい交流活動、見守り、声掛け活動

【屋根の雪下ろし・除排雪】

	回答者	回答内容
1	民生委員	ゴミ収集所前の雪片付け（二か所）バス通りなので、歩行者が雪で歩けないので近くの流雪溝へ流している。

【環境美化活動】

	回答者	回答内容
1	町会	学校の花壇の整備
2	町会	高齢者同士のおしゃべり会、町会の清掃活動
3	町会	田畑が多く、ゴミ類の不法投棄防止のパトロール、草刈り清掃年2～3回
4	町会	資金不足のため資源ごみの回収をしている。
5	民生委員	環境保全会と連携しひまわりロードの管理運営
6	民生委員	バス停、歩道除雪、東青森駅自由通路のゴミ拾い、清掃作業、道路のゴミ拾い
7	民生委員	市の援助もあり町内に苗、土、プランター等を購入し、法人、個人に配布している。

【子育て支援活動】

	回答者	回答内容
1	町会	保育園児との交流（老人クラブ）
2	民生委員	「親子で遊ぼう」月1回市民センター児童集会室にて、親子参加型のふれあい相談場を設けている。
3	民生委員	子ども食堂、健康づくり体操、一人暮らしの高齢者の食事会、子どもたちのオンラインの学習会（弘前大学と連携）

【特になし・その他】

	回答者	回答内容
1	町会	防災訓練、沖館川の草刈り
2	町会	日帰り旅行
3	民生委員	地域連携に無関心な家庭が増えてきている。 町会役員の担い手不足。
4	民生委員	町内ねぶた、新年餅つき会、交通安全講習、防災訓練
5	民生委員	町内のバス旅行、文化祭
6	民生委員	月1回の高齢者の集まりで交番から防犯の話をしてもらう。
7	民生委員	企業のかたに出向いてもらい衛生用品を紹介

【問19】

誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らすことができる地域づくりを進めるために、あなたの地域のこういうところを良くすれば、地域がもっと住みやすくなるといった点など、地域福祉に関するご意見、ご要望がありましたら、ご記入ください。（自由記載）

【近所付き合い・地域住民の交流】

	回答者	回答内容
1	町会	人に頼るを好きがらない人が多い。自分は自分という考え方の人が多い。
2	町会	仲間になれるような人ではない人をどうしたらいいか。 何をしても嫌な思いが残ってしまう。
3	町会	当地域は新興住宅街であるため地域住民間のつながりが希薄である。 地域住民間のつながりが最も必要と思う。
4	町会	町内のゴミ出しルールを守ってほしい。 顔を見たら知らない人でも声をかけると防犯にもなると思います。 子供たちの声をかけると不信者扱いされるので、挨拶ぐらいはいいと思います。
5	町会	あいさつを徹底して、地域住民が顔見知りになること。 地域の美化。 町会や福祉活動に関する情報の共有。
6	町会	町会活動に無関心な住民が多い。 役員の成りてがない、ゴミ出し非協力的、行政の町会任せが多い。
7	町会	ゴミの分別に対する意識が高まること。互いに進んで挨拶する。
8	地区社協	定期的に地域住民からの意見意識の吸い上げが課題と考えています。
9	民生委員	住民同士のつながりが希薄になっている危惧しています。 子どものころからの地域参加の意義教育に始まり若い方々の参加を促すためには何が必要か常に考えていますが解決できていません。 海外や都会ではボランティア活動の大切さを子どものころから学び体験させていて学力向上にもつながっています。
10	民生委員	住民がそれぞれの役割をしっかりとやることだと思います。
11	民生委員	若者世代とお年寄りが交流するチャンスが以前ほどなくなったように思える。 なんかの形で交流できる機会があればと思う。
12	民生委員	世代間の交流がない。 老人クラブに入る男性が少ない、高齢の男性が集まる所がない。
13	民生委員	最近、私たちの住む地域では家族間、となり近所での挨拶が少なくなってきたと思う。 親子でも夫婦でもやはりその時々挨拶があると思うので、助け合いも支え合いも、まずは元気な挨拶から始めてみてはどうでしょうか。
14	民生委員	私の住んでいる地区は50%が65歳以上で、防犯・防災についても徹底されていない点もあるので、町会各団体と協力し、住民を巻き込んでの行事が出来ればと思っています。

【福祉施設・活動拠点の充実】

	回答者	回答内容
1	町会	地域でいつでも使える活動拠点がほしい。
2	町会	活動のきっかけになる接点がなく、特に子供を中心とした活動の場がない。
3	町会	高齢者、認知症、発達障害の子どもを育てている母親等が気軽に参加できる憩いの場があったらいいと思います。
4	町会	地域の人が気軽に集える場がない。 行政が廃屋を開放して町会等に安く貸し出して欲しい。
5	民生委員	活動するために自由に使える場所が必要です。 子ども大人も集える場所があると多様な活動ができると思います。
6	民生委員	私の地域は生保対象者が一人もいないのでとても住みやすい。 高齢者が増えてきているので、要支援者が積極的に参加できる、福祉関連のいい場所を提供してほしい。
7	民生委員	週1または隔週の午前または午後のひといき。 65歳以上が集って活動できる機会が町会ごとにあればいいと思います。
8	民生委員	地域の誰もが気軽に立ち寄り会話ができるサロンのような場所、夏の暑さや冬の寒さを防げる場所があれば。
9	民生委員	日常的に使用できる会館が高齢者が歩いていける範囲に欲しい。 高齢者も放課後の学童も、幼児も出入りできる施設が近くに欲しい。

【意識啓発・高揚】

	回答者	回答内容
1	町会	何事においても参加欲が不足し、活動に参加する一部に限られている。
2	町会	地域住民が福祉活動の重要性、必要性を認識すること。
3	町会	高齢化率も高く、男女ともにひきこもりが目立ってきた。 特に男性は友人、知人が少ないのか町会活動には非協力的。
4	民生委員	楽しく活動できることが大事なポイントだと常に思っています。 わが地区では人間関係における課題が根深くそれが色々な形で影響を与えているため前進の妨げになっています。 すべての根本は人間関係だと思うこの頃です。
5	民生委員	アンケートを見ると必要なことが多く自分自身の無力さを感じました。 少しずつ積み重ねて努力を続けることしかできません。 アンケートを見て意欲を感じました、ありがとうございます。
6	民生委員	災害時の時など、地域住民が助け合いが必要。
7	民生委員	見て見ぬふりをしないで、あたりまえの日常に目を向け、自分さえよければという考えを捨てて、社会貢献の時間を作っていただきたい。
8	民生委員	若い方にもっと自分の地域に関心を持ってもらいたい
9	民生委員	日々感じることはもっとオープンに心の中を話してほしい。 手助けしたいと思っても本音を言わないので力不足を感じている。
10	民生委員	地域住民同士信頼し合い、お互いに支え合うことが一番大事だと思う。
11	民生委員	高齢者がトップの町会体制をやめる。 若者を否定し取り込み方について消極的なことが町会を消滅させていくことになると思う。
12	民生委員	市民全体が協力し合い、支え合おうという意識が一番必要だと思う。

【人材の育成・確保】

	回答者	回答内容
1	町会	二カ月に1回の会議で色々な問題点について話し合っていますが、決まった人以外は活動していない状況です。 今後は少しでも町内の方が活動に興味を持ち参加しみんなが触れ合うことができる活動を考えたいと思う。
2	町会	教育の一部に福祉活動に関するものがあること。
3	町会	自分自身の後継者を探すのに苦労している。（役員探しも）
4	町会	町全体が高齢化し、役員を担う人材がいない。
5	町会	人材育成についての方策を考えていただきたい。 市の職員が地域に貢献する仕組み作りを考えてもらいたい。
6	町会	どんなに素晴らしい取組でも無償のボランティアにばかり頼っていては限界があると思う。 継続されないか質が下がるかのみである。
7	民生委員	民生委員の成り手が不足している。地域の社会福祉施設や地域包括支援センターと連携して、民生委員の役割を移譲出来ないか？
8	民生委員	学生のうちに福祉に関する教育が必要かと思う。 地域の各種活動に参加するのは高齢者のみもっと若い人が先頭になって活動してほしいと思う。
9	民生委員	より若い人の参加があれば活性化するのは。 とはいえ仕事や子育て中の若い人は時間的にも参加は無理なのだろうと理解はしている。 比較的元気な高齢者がその他の人の世話をしている同じ人がいくつも役員を負っている。 地域福祉に関する楽しい催しものがあったら多くの人が地域福祉活動に参加するきっかけになるのかも。
10	民生委員	地域の役員が高齢化しているので次の担い手になる若い方々の協力を必要としている。
11	民生委員	地域、町会内で役員等世話人の後継者不足です。 災害時の避難誘導の不安。 1人暮らし高齢者のゴミ捨ても有料で良いから依頼したい人もあり包括支援センターと民生委員役割、地域で安心できる為に行政に声が届く機会がもっと必要だと思います。
12	民生委員	すべての活動においてマンパワー不足が一番の課題
13	民生委員	町会役員のなりてがなく町民も町会活動に関心が薄れてきているように見受けられる。 ほかの町会との情報交換を希望したい。
14	民生委員	民生委員も杖をついて歩いている人を見かける。 もう自分でも限界を感じ辞めるつもりでいる。
15	民生委員	町会役員やボランティア団体など高齢化が進み、活動を維持するのが難しくなっている。 ので、若い世代の人にも参加してもらえよう、子どもと親が地域の活動に参加しやすい取組み（イベント等の開催）をしていき、世代交代がスムーズに進むようにしていけたらと思う。
16	民生委員	民生委員をもっと幅広い年代の方に協力して頂けた方が、力強い地域になるように思います。 民生委員の活動内容を把握していただいて、行政でやれることは行政でやっていただきたい。
17	民生委員	地域の中で若い世代が主体的に活動できる場をつくっていかないと活性化は難しい感じです。
18	民生委員	福祉教育の充実を図る必要がある
19	民生委員	地域における福祉活動の中心を担う人材の育成の確保が大切だと思います。

【行政からの地域住民情報の提供】

	回答者	回答内容
1	町会	個人に係る問題になった場合、相手から個人情報に関することだと注意されることがある。
2	町会	市役所より、金婚夫婦の情報がない。 高齢者世帯になる情報がない。 ひきこもり世帯があるが、面会できない。
3	町会	個人情報に関しての境界が難しい。
4	民生委員	若い人たちのプライバシーということでの非協力的なこと。 人材不足、特にボランティアに対する考えも対価を求める。 民生委員のなりてもない状態、今後は有償での公募も必要ではないかと思います。
5	民生委員	高齢者世帯名簿による確認ができるが、母子世帯、重度障がい者、生活保護世帯の名簿は配付できないか。
6	民生委員	個人情報の枠を広げてもいいのではないか。
7	民生委員	高齢者に異常があってもプライバシー問題が先行し連絡がとりづらい。
8	民生委員	今は個人情報や人との関わりに目を向けた無関心さを強く感じ訪問も言葉遣い等十分気を付けて話さないといけなく感じます。

【見守り体制の構築】

	回答者	回答内容
1	町会	60歳以下の町民が積極的に行事に参加するようになれば安心安全な地域づくりができる。
2	地区社協	防犯、安全対策に力を注いでほしい。
3	地区社協	高齢者、一人暮らしのゴミ出しのことについて、もう少し深く取り組んでほしい。
4	民生委員	隣にどんな人が住んでいるか無関心であってはならない。 常に声がけをし誰もが安心できる地域であってほしい。
5	民生委員	独居高齢者や高齢者のみ世帯が病気やケガをしたときに周りに助けを求められる環境、ネットワークが作られていると安心して暮らすことができるのではと思います。
6	民生委員	町内で一人暮らし高齢者の孤独死がありました。 市として75歳以上一人暮らし高齢者には無料で安心電話が設置できるシステムがあればと思います。安心度が増すのでは。
7	民生委員	まれに近所の方々と関わりを持たない高齢者がいるのでそんな人の心を開くのがなかなか難しいと感じる。 前よりは電話連絡をくれるようになったのですが訪問しても不在でなかなか様子がわからないことがある。 仕事をしながらの活動なので時間に限りがある。
8	民生委員	地域で活動する団体間の情報交換の仕組みづくりの確立により児童虐待の早期発見防止につながる。
9	民生委員	マンションでオートロックが多い地域なので、高齢者宅を訪問できないことが多い。 マンション管理組合の方にも緊急時に連携ができればいい
10	民生委員	一軒ずつ訪ねていくことは苦痛です。窓口を作って話や書類を渡せる環境を作ってほしい。

【除雪・屋根の雪下ろし】

	回答者	回答内容
1	町会	バス路線の利便性の向上、買い物難民の解消対策の促進、こまめな除雪。
2	民生委員	除雪に関して支援してくれる家庭が不足している。 現在支援している方も高齢化しているので近所での助け合いがほしいところです。
3	民生委員	地域内に雪捨て場が欲しい。
4	民生委員	一人暮らし高齢者の冬場の除雪ボランティアが足りず、自分のことが精いっぱい断られる。

【地域活動の情報提供】

	回答者	回答内容
1	町会	老若男女が多く参加できる、地域を挙げての催事イベントのアイデアが欲しい。
2	町会	各団体の活動内容を把握出来ていないため、住民に対してのアドバイスが出来ない状況にある。 住民のボランティア活動への理解が進んでいないため、参加者も限られ、各団体の福祉事業が進められていないことも考えられるため、情報提供などの充実などを進めてもらいたい。
3	民生委員	民生委員だと言っても関わりたくないようになっていきます。無理にかかわろうとするのではなく、困ったこと相談事がある時は、電話で話せるよう分かりやすい情報提供を紙面にしたらどうでしょうか。

【その他】

	回答者	回答内容
1	町会	アンケート調査も必要であるが、地域の場で具体的に活用できる仕組みづくりを行政が先頭に立って取り組んでいくことであると思う。
2	民生委員	困りごとがあったらすぐに発進できる窓口がすぐそばにある日常が必要だと思います。
4	民生委員	地域における相談は民生委員に任せているように感じる。 地区社協の存在は浸透していない。
5	民生委員	地区社協や地区民児協の役割を住民へ周知を徹底してほしい。
6	民生委員	高齢者で相談にいきたいと思っても体が悪くいけない人が多い。 相談場所がわかってても行く手段がない。このような方をカバーできるとよい